



JAC GUNMA

公益社団法人

# 日本山岳会

群馬支部報

第13号

2020年  
9月16日

## ぐんま県境稜線トレイルの今

黛 利信

今年の夏は、コロナ禍に加え、長く雨の多い梅雨とその後の酷暑で、山行がためらわれるような状況であった。私も限られた山行しかできていない中、夏から秋にぐんま県境稜線トレイル全線踏破を予定している。全行程のうち、8月中旬時点では土合から三国峠までの、距離にして30%ほどが終えている。このうち谷川岳—平標山間は、日本山岳会群馬支部が担当する稜線トレイル安全調査の区間であり、7月分の安全調査として歩いた。群馬支部による2018年の全線踏査、昨年安全調査も参考にしながら、3年目に入った稜線トレイルの状況をレポートしてみたい。

### 【コース】

車道・林道を含め120kmに及ぶコースは、魅力でもあるが、入下山口へのアプローチや山中泊の場所を十分考慮した計画が要求される。登山道の危険箇所は少ないが、やせ尾根歩きが多いので突風、天候急変や疲労時など注意したい。道標は、文字が消えたり倒壊したりしている所があるが、保全が追い付いていない状況である。登山道の刈り払いは7月に行われた。

### 【認知】

稜線トレイルを歩いている人は、若いグループ、中年単独男性が多い。YAMAPのWebサイトに掲載される記事は年を追うごとに増えているので、認知されつつあることは間違いないようだ。記事では、長い、感動、疲労の語彙が目立つ。

### 【特長、見どころ】

緑のササで覆われた急峻な群馬側と、低木で比較的なだらかな新潟、長野側の非対称稜線がずっと先まで続く中を、人間の数十センチの一步を積み重ねて到達する困難さと達成感という内面的な魅力・誘惑が第一であろうか。天空散歩のフレーズがぴったりだ。6月中旬から7月末頃までが花の一番美しい時期である。平標山、野反湖周辺のお花畑はとみに有名であるが、ほぼ全行程で、けなげに季節の花が咲いてシャッターを要求し、疲れた心身をいやす口実にしてくれる。私は、上信越国境特有の気象現象とも思われる滝雲を楽しみにしている。一ノ倉岳—谷川岳間の吊尾根に現れるものが最高であるが、遭遇できる機会は極めて限られる。



## リレーエッセイ⑬「東北の花の名山と温泉旅」

このところのコロナ禍と長引く梅雨が明けぬ7月28日から3日間で、会の仲間5人、車に同乗し雨の東北道を北上。途中で山形の最上川で洪水と知るが、今日の宿秋田の乳頭温泉郷の秘湯鶴の湯に無事着いた。夕食は当地名物盛り沢山の山菜料理、囲炉裏での鍋、岩魚焼き、刺身に地酒の骨酒で満腹。夜は雨も止み評判の露天風呂では星空になり明日の天気を期待し床に入る。

2日目は花の名山秋田駒ヶ岳へ、麓の駐車場からバスで8合目へ、天気も上々の中ニッコウキスゲ、コマクサなどのお花畑のトレッキングで満足。下山し、途中で田沢湖を散策し岩手県入りし次の宿、早池峰山麓の峰南荘泊まり。はやちねワインで乾杯。

この日は高山植物の宝庫で名高い早池峰山へ。早朝、宿の車で登山口小田越へ送ってもらう。好天のもと出発、木道の樹林帯は快適に歩き始めるが2合目からは岩山の急な上りになり4合目でダウン。皆には登ってもらい私はこの辺のお花畑でハヤチネウスユキソウ、ナンブトラノオ、イワツメクサなどの写真を撮りながら皆を待つ。一緒の下りでは足腰膝痛で苦勞し、通常のシャトルバスがコロナ状況下運休で下の駐車場までやっと歩き下山できた。途中の花巻温泉で疲れを癒やし、東北、北関東道で長い車旅の帰郷となった。残念ながら早池峰山頂には行けず、体力、筋力、気力のなさを痛感したが、素晴らしかったことは、この会の名「晴れの日逍遥会」の通り、晴天と良い山仲間恵まれたこと。この花の旅は一生の思い出となった。(寺内 正明)

## 支部山行 上高地集中

(7月17～19日)

18日(土)の夕方に上高地山研に集合。毎年恒例となった「上高地集中」も今年で3回目。誰もが予想もしなかった歴史に残るコロナ禍のため開催も危ぶまれていたうえに、春からの群発地震、そして直前に長野県を襲った豪雨。数日前まで沢渡から上高地までが不通となるなど心配されたが、無事に充実した山行となった。今回は、常念岳班が17日常念小屋泊で、田中、西田、星野の3人。爺ヶ岳班は17日種池山荘泊で根井、木暮、川端、宇佐美、萩原公平の5人。そして、ソロで上高地近隣のピークハントを計画した中山の総勢9人の参加となった。各班ともほぼ計画通り行動できたが、天気は雨模様。誰もが北アルプスの絶景をイメージしていたが、それは次回に持ち越しとなった。その代わりに、期待していた雷鳥との出会い。初めて見た会員にとっては、心に残る山行となったに違いない。

山研に集合してからは、酒を酌み交わしながらの山談義。西田さんが歌い出した山の歌で盛り上がり、中山さんからは、ジャンダルム日帰り踏破した時の話や奥深い山々の話。早くも来年のコース案も話題となった。語り合う楽しい時間はあっという間に過ぎていった。19日(日)は待ちに待った青空となり爽やかな朝を迎えることができた。河童橋をバックに笑顔で記念撮影。次回の上高地集中が今から楽しみとなった。

(田中 規王)

## 常念岳で見た雷鳥と槍

7月17日、一ノ沢登山口を田中リーダー、西田顧問とともに8時出発。駐車場から少し先に何匹もの猿がいた。連日の雨続きで沢の水がゴーゴーと音を立てていた。沢を何度か渡り、足を滑らせると沢の中に落ちてしまいそうで、恐る恐る慎重に渡った。ゴゼンタチバナ、サラシナショウマ、ヨツバシオガマ、ニッコウキスゲに癒やされながら13時常念小屋着。荷物をおろし常念岳へ。

ハイマツがたくさんあり、田中リーダーが「雷鳥がいそうな雰囲気だね」と口にしたほんの何分も経たないうちに何か鳴き声が…すると雷鳥が目の前に現れ、じっと静かにしているとこっちに近づいて



きた。さらに小さな子どもが三羽ヨチヨチと親のお腹の下に入る姿はとても可愛かった。常念小屋で一緒だった登山者によると、本来この時季、子どもはもつといなければならないが、駐車場付近にいた猿がこんな所にまで登ってきて、卵やひなを食べてしまうとのこと。それには驚いた。



14時25分常念岳着。天候が悪かったので残念ながら絶景を見ることはできなかった。15時50分常念小屋着。100周年記念で常念坊の木札をもらった。山小屋は2日前営業開始。宿泊者は他3組程度だったので静かな、ゆったりとした夜を過ごすことができた。



た。

7月18日6時に常念小屋を出発。少し晴れ間が出てきたので立ち止まっていると槍の先がちよこんと見えた。そしてゆっくりと下山し11時26分駐車場着。下山はすごく長く感じたが、初めて出会った雷鳥と槍の穂先が目には焼き付き、疲れを感じさせなかった。

そして上高地山研へ。初の山研、とてもきれいで群馬支部9人の貸し切りで贅沢気分を味わった。食事をしながら情報交換をし、長い夜を楽しむことができた。常念岳登山時は雨が心配だったが、さほど降ることもなく、3日目の上高地は快晴！穂高連峰、焼岳の絶景を見ることができた。来年は蝶ヶ岳？楽しみにしています。

(星野 弘美)

## 後立山連峰の「いぶし銀」爺ヶ岳へ

「北アルプスの入門コース」という、根井事務局長の甘いささやきに心動かされ、爺ヶ岳に登ってき

# 記 録

た。北アルプスの山に登るのは、2002年、立山連峰を縦走して以来、実に18年ぶり。この間、梅池自然園に行ったり、安曇野マラソンに出場したりと、何度か“ニアミス”しているものの、本格的な登山となると本当に久しぶりだ。

高鳴る胸を押えながら午前8時50分、扇沢駅手前の柏原新道登山口をスタート。きょうの宿泊所となる種池山荘には13時55分に到着した。山小屋手前のお花畑に咲き乱れるチングルマやイワカガミ、ミヤマキンポウゲなどの花々からパワーをもらったメンバーは、そのまま2660mの山頂（南峰）まで踏破。残念ながら眺望はなかったものの、初日に山頂を極められ、さらには山小屋に戻る途中、雷鳥に出会えるという幸運も重なって、幸先の良い1日目となった。夕食時に500mlの缶ビールが1人1本サービスでつくというおまけまで付いた。



下山時には針ノ木岳も見えてきた

られなかった北アルプスの峰々も雲間から顔をのぞかせてくれた。10時24分、登山口着。

さて、気になっていた山小屋のコロナ対策だが、玄関での検温はもちろんのこと、下駄箱もナンバリングされていて、サンダルやスリッパもほかの宿泊客と共用しないように工夫されていた。部屋も8畳に3人。さらにカーテンで1人1人仕切られるようになっていた。布団も直に触れないよう、シュラフカバーやインナーシーツの持参を事前に呼び掛けるなど、その徹底ぶりには目を見張るものがあった。

楽しい山行を企画してくれた山行委員の方々、リーダーの根井さん、ご一緒させていただいた萩原さん、川端さん、宇佐美さん、ありがとうございます。機会があったらまたご一緒させてください。よろしくお願ひします。

(木暮 幸弘)

## 東北の花の名山を訪ねて

東北の秋田駒ヶ岳と早池峰山をめぐる山旅を7月28日から3日間行い、花の名山を堪能した。寺内、

宮川（勉）、武尾、久保田、萩原（哲）の5人の会員が参加。寺内会員は若き日の足跡をたどる山旅でもあった



地ワイン「早池峰神楽」がうまかった＝早池峰山麓のロッジにて

(リレーエッセイ参照)。

まず向かった秋田駒ヶ岳は女目岳（男女岳）を中心とした火山群の総称で、標高は1637m。8合目小屋でバスを降り、片倉岳から阿弥陀池、横岳を経て焼森へ。ガスって視界不良だったが、ニッコウキスゲ、コマクサの群落などの花園に目を奪われた。この後、一気に下って8合目に戻った。

翌日は早池峰山（1917m）に。言わずと知れた日本百名山で、高山植物の宝庫。特に7月から8月にかけてハヤチネウスユキソウ（キク科）の名花が登山者を引きつける。高さ10～20cmで、花びらのような純白の包葉が星状に広がり、中心部には淡黄色の雄花が。ヨーロッパアルプスに咲く高貴なエーデルワイスに似ている。



東北は豪雨に見舞われたが、当日は雲が切れた＝早池峰山3合目付近から

小田越登山口から入山した。森林限界を超えた辺りから蛇紋岩の岩塊が続く。手も使って登っていくと次第

にそよ風に揺られた名花が我々を迎えてくれた。凜として美しい。5合目辺りはほかの高山植物も咲き誇り、その可憐さがいとおいしい。各自カメラ、スマ

(4ページに続く)

ホで好き好きに撮り続けた。宮川会員が登頂し、下山中の我々と合流して登山口に全員着いた。時折、雲海が広がっていた。一带は国の特別天然記念物に指定され、車両乗り入れ規制があり、携帯トイレが必需品だ。

ところで、秘湯で知られる乳頭温泉郷の鶴の湯に一晩お世話になった。秋田藩の湯治場だった由緒ある温泉で、警護の武士がつめた茅葺き屋根の長屋「本陣」が今も客室として残っている。乳白色のにごり湯の露天風呂に入った。囲炉裏のある部屋で山の滋味に富む料理に舌鼓を打った。イワナの骨酒が体に染みだ。

国指定無形文化財の神楽が有名な早池峯神社にも立ち寄った。身も心も充実した山旅であった。

(久保田重夫)

## 黒部五郎岳と鷲羽岳

濃い緑と巨岩、カールが眼下に広がり、向こうには雲ノ平も見える。黒部五郎岳は晴れわたっていた。

8月1～3日、新穂高から入り、黒部五郎岳と鷲羽岳を歩いた。アルプス初挑戦の友人と一緒にだったので、無理せず三俣山荘にテント2泊。1日新穂高～双六小屋～三俣蓮華岳～三俣山荘(21km)、2日三俣山荘～黒部五郎岳往復(16km)、3日鷲羽岳往復～テント撤収～新穂高(23km)の日程だ。

長い稜線や雪渓のある風景が好きで2年に1度は

裏銀座を訪れている。気分は爽やかだが、中部地方に梅雨明け宣言が出た初日は暑さにバテて何とか三俣山荘に着いた。

2日は基本的に稜線歩きなので快適。4年前、黒部五郎岳を訪れたと

きはガスで何も見えなかったので感慨深い。一方、3日早朝に登った鷲羽岳はガスと強風で山頂を早々に退散し、新穂高へ下山した。

コロナの影響は山にもあって、小屋泊はもちろん、双六と黒部五郎小屋は平日のテントも予約制、三俣山荘は繁忙期予約。小屋内はマスク着用が義務だったし、着けたまま歩く人も少くない。

そんな中でもテン泊を楽しむ装備として初めてプラスチックグラスを持参した。三俣山荘は生ビールがなく、1本900円のビールをより美味しく飲むためだ。最近は32ℓザックでのテン泊なので、グラスを持つために更に軽量化。バカげているがいい選択だったと思う。ちなみにテンカラ釣りを始めることにしたので次回の裏銀座紀行は高天原温泉に入りつつ、黒部川源流釣りをしてみたい。

(石垣 光広)



黒部五郎岳から遠く槍ヶ岳を望む

## INFORMATION

### 早春の榛名で四支部懇(来年4月)

千葉、茨城、栃木、群馬の日本山岳会関東4支部の合同懇談会は毎年、各支部持ち回りで開催され、2021年は群馬県での開催となります。群馬での支部懇は17年以来2度目。4支部から4、50人ほどが参加し、初日は会議、講演会と懇親会、2日目は比較的手ごろなコースを選んでの親睦登山という内容です。

来春の群馬での支部懇は4月17～18日の土日、榛名湖畔のゆうすげを会場に開かれます。2日目の山行は榛名の主峰・掃部ヶ岳を軸に検討中。当日は受付や接遇、運営そして2日目の山行サポー

トなど多くの支部会員の協力が必要となります。また他支部の会員との交流も貴重な経験となります。この日程はぜひあけておいていただき、多くの会員の参加をお願いします。

### WEBサイトを更新します

日本山岳会のホームページリニューアルに続いて、現在各支部のサイト更新準備が進んでいます。群馬支部でも本部デジタルメディア委員会の協力のもと、総務委員会のインターネットグループが新サイトの構想づくりを進めています。

また、会員の個人情報保護と支部内の円滑なコミュニケーションのためにグループメールを導入し

## NEWS

## [速報・短信]

## 「健康登山塾」短縮日程で9月スタート

4月開講予定だった今年度の健康登山塾は、新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、開幕を見合わせてきましたが、9月12日に開講し、第1回現地講座を赤城長七郎山で行うこととなりました。その後は月1回ずつ12月までの全4回の予定で開催されます。

今年も120人近い応募があり、その中から25人の受講者を決定しましたが、その後2人の辞退者が出て、23人が受講します。「密」を避けるためグループを増やす必要があり、多くの会員のスタッフとしての協力をお願いします。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大の状況によっては、予定が変更されることも予想されます。

## 2020健康登山塾の日程

日時	場所	テーマ
9月12日(土)	長七郎と小沼	屋外運動の注意事項と期待される効果
10月17日(土)	地蔵岳	運動時の呼吸法と血圧・脈拍
11月7日(土)	黒檜山	転倒防止と関節を大切に作る歩き方
12月12日(土)	高崎根小屋城址	運動習慣の継続

## 日本山岳会改革事業推進委員会が再スタート

日本山岳会の改革事業推進委員会が古野淳会長のもと、関係理事・公益法人運営委員・YOUTH CLUB委員に、あらたに4支部の支部長・事務局長を加えた18人の委員構成で再始動することになり、8月21日に第1回会議が本部ルームとZOOMの併用で開催されました。

初回は、改革のコンセプトや、会員減に対する考え、入会金・会費などについて全員が意見を述べました。今後、論点を整理し月1回か2カ月に1回程度、継続して開催され、具体的に議論を深めていくこととなります。

群馬支部からは根井事務局長が委員に加わり、第1回会議にはZOOMで参加しました。

## 日本山岳会全国支部懇談会が中止に

5月に宮崎支部主催で、宮崎県内で開催予定だった、晩餐会とならぶ日本山岳会の年間の中心行事の一つ「全国支部懇談会」はコロナ禍で10月に延期されていましたが、新型コロナウイルスの感染拡大が止まらない状況を受け、今年度の開催について7月に中止が決定されました。

群馬支部からは当初4人が参加を予定していました。



## お知らせ

ました。現在は事務局と役員・委員長からの連絡用としての利用ですが、今後は支部の全会員が山行のお誘いなどにも利用できるよう利用マニュアルと利用規則を整備していきます。

また、支部サイトに、外部も含めた山行やイベント公募などの際に使えるよう、フォームメールも開設しました。夏の自然観察会から利用をはじめています。

## 座学講座開講中

コロナ禍でスタートが遅れましたが、今年度も座学講座を開講しています。すでに第1回(読図と気象)、第2回(事前の準備)は終了しましたが、

第3回(9月30日・登山中のポイント)、第4回(10月28日・安全登山の基本)、第5回(11月25日・スマホの活用法)は受講者募集中です。

講師は中山、佐藤光由、根井の各会員が担当します。今年はコロナ禍で会場の定員が絞られている関係もあり、早めの応募をお願いします。応募は事務局まで。

初心者だけでなく、経験者の学び直しにもなるカリキュラムです。



## 2020年度支部通常総会 初の書面での審議

今年度の通常総会は5月20日（水）、18時30分から前橋市本町の前橋市中央公民館（前橋プラザ元気21内）で開催される予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大のため、感染防止の観点から、2013年の支部創立以来初となる書面での開催となった。

なお、群馬県山岳連盟、群馬県山岳団体連絡協議会、ぐんま県境稜線トレイル活用促進協議会の総会も書面開催となり、6月の日本山岳会総会には出席者を大幅に絞り、小規模な実際の会議に加え、議決権行使書による採決とネット中継によって開催された。

群馬支部総会では1号議案（2019年度事業報告、決算報告について）、2号議案（2019年度監査報告について）、3号議案（2020年度事業計画、予算について）、4号議案（委員会・事務局活動報告と活動計画）、5号議案（関東四支部懇開催について）の全5議案が郵送による議案書の送付と議決権行使書（ハガキ）の返送による方法で審議された。

総会の書面開催については支部規約に明記されていないが、総会成立要件を定めた規約第9条により、議決権行使者と委任者を含め、支部通常会員（総会時52人）の過半数（26人）をもって成立するものとし、また1号から5号までの各議案は議決権行使総数の過半数をもって可決としたが、書面での議決権行使では委任15人のほか全議案とも賛成22、反対0で総会は成立し、全議案とも承認された。なお議決権行使書は八木原会員の立ち会いのもと事務局において開票集計し、中山、鈴木両監事が確認した。

異例なかたちとはなったが、こうして新年度がスタートした。総会から3カ月経っても引き続き、第2波ともいわれる新型コロナウイルスの感染拡大が続いている。3号と4号議案に載せられた事業計画・行事予定・支部山行も実施が不透明な状況が続いているが、ZOOMによる遠隔会議の試行・実践や、健康登山塾や支部山行も感染防止に留意しつつ実施するなど、支部活動の維持、継続に向けての動きも進んでいる。

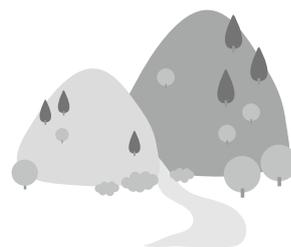
今年度は役員改選年ではなく、顧問、役員、委員

長とも前年度と同じメンバー（表参照）となる。なお、議案書最終頁の事務連絡で委員会への所属届け提出を呼び掛けている。ぜひ山行、自然保護、事業、総務の各委員会に参加いただき、支部活動の活性化に力を結集してほしい。

また来春には4月17～18日に榛名湖畔での千葉、茨城、栃木、群馬の関東四支部による合同懇談会（支部懇）が控えている（5号議案）。現在、事業・総務委員長を中心に役員会で実施計画づくりが進められている。事前の準備から当日の受付、接遇、運営、山行、観光、見送りなどに多くの支部会員の協力が求められている。

### 2020年度支部役員および委員長

役 職	氏 名
顧 問	斉 藤 晋
	西 田 哲 彌
	平 野 紀 子
支 部 長	北 原 秀 介
副 支 部 長	黛 利 信
	荒 木 輝 夫
会 計	荒 木 輝 夫
監 事	中 山 達 也
	鈴 木 良 徳
事 務 局 長	根 井 康 雄
総 務 委 員 会	荒 木 輝 夫
山 行 委 員 会	田 中 規 王
自 然 保 護 委 員 会	木 暮 幸 弘
事 業 委 員 会	武 尾 誠



## 2020年度日本山岳会群馬支部年間予定表

コロナ禍により期日・場所等は大幅な変更あり

	行 事 名	期 日	場 所	内 容	担 当・出席者等
公益	健康登山塾 第1回 (*中止)	4月11日	前橋公園	オリエンテーション	事業委員会
共益	支部役員会 (*中止)	4月15日			事務局
共益	支部山行・筑波山 (延期)	4月18日	筑波山	支部山行	山行委員会
公益	健康登山塾 第2回 (*中止)	5月16日	赤城山	実地講習	事業委員会
共益	支部報第12号発行	5月20日			事務局
共益	平成30年度支部総会 (書面開催)	5月20日	前橋市中央公民館	支部総会	事務局
	日本山岳会全国支部懇談会 (延期)	5月25・26日	宮崎	支部懇談会	(宮崎支部)
	群馬県山岳連盟総会 (書面開催)	5月23日	前橋	総会	理事・評議員
	群馬県山岳連盟自然観察会 (中止)	5月24日	赤城山		岳連自然保護委員会
公益	ぐんま山フェスタ2020 (WEB開催)	6月13～14日	群馬県庁	講演「健康登山」 木暮理太郎コーナー 写真展ほか	事務局
公益	健康登山塾 第3回 (*中止)	6月13日	赤城山	実地講習	事業委員会
共益	支部役員会	6月17日			役員・委員長
	日本山岳会通常総会	6月20日	主婦会館 (東京四谷)	総会	会員
	群馬県山岳団体連絡協議会総会 (書面開催)	6月		総会	協議会役員
	日本山岳会自然保護全国集会 (中止)	7月4・5日	吉野	基調講演・分科会など	自然保護委員会
公益	健康登山塾 第4回 (*中止)	7月4日	榛名山	実地講習	事業委員会
	谷川岳山開き	7月5日	谷川岳	神事・イベント	支部長・有志
公益	自然観察会・ミヤマシロチョウ (雨天中止)	7月11日	湯ノ丸高原		自然保護委員会
共益	第41回支部例会	7月15日		例会	事務局
共益	支部山行・上高地集中登山	7月17～19日	上高地集中	支部山行	山行委員会
公益	山の日イベントin谷川岳 (中止)	8月11日	谷川岳周辺 (みなかみ町)	登山・ハイキング等	事務局・山行委員会 自然保護委員会
公益	健康登山塾 第1回	9月12日	赤城山	実地講習	事業委員会
共益	支部報第13号発行	9月16日			事務局
共益	第42回支部例会	9月16日		例会	事務局
	スカイビュートレイル (中止)	9月20～22日	武尊山周辺	トレラン競技運営	(岳連)
	日本山岳会支部合同会議	9月26・27日	東京四ツ谷・ZOOM		支部長・事務局長
	谷川岳閉山式	10月3日	谷川岳	神事・イベント	
	日本山岳会全国支部懇談会 (中止)	10月3～4日	宮崎	支部懇談会	(宮崎支部)
共益	支部山行・武尊山	10月10日	上州武尊山		
共益	尾瀬合宿	10月10・11日	尾瀬	支部山行・懇親会	山行委員会
公益	健康登山塾 第2回	10月17日	赤城山	実地講習	事業委員会
共益	支部役員会	10月21日			
	県民登山大会 (岳連)	10月25日			岳連・山行委員会
	木暮理太郎翁碑前祭・偲ぶ会	11月3日	太田		(語り継ぐ会)
公益	健康登山塾 第3回	11月7日	赤城山	実地講習	事業委員会
共益	第43回支部例会	11月18日		例会	事務局
	日本山岳会支部連絡会議	12月5日	京王プラザホテル (東京新宿)		支部長・事務局長
	日本山岳会年次晩餐会	12月5日	京王プラザホテル (東京新宿)	晩餐会	会員
公益	健康登山塾 第4回	12月12日	高崎	実地講習	
	支部役員会	12月16日			
共益	支部山行 (初日の出)	1月1日	赤城長七郎		
共益	支部報第14号発行	1月20日			事務局
共益	第44回支部例会・新年懇親会	1月20日		例会・新年会	事務局
共益	支部役員会	2月17日			
	木暮理太郎翁の足跡を語り継ぐ会総会	3月	太田		(語り継ぐ会)
共益	支部山行・赤城	3月13日	黒檜山		
共益	第45回支部例会	3月17日		例会	

\*健康登山塾は当初予定の第1回から4回までを中止とし、9月12日から12月まで全4回の予定で開講

### 群馬の藪山 ⑨

中山 達也

【唐沢山】(1788m) 利根郡片品村

2020年5月 2.5万円 丸沼

前回紹介した赤沢山の東北東約3.2kmにある。ただしアプローチは国道120号、丸沼高原側になる。日光白根ロープウェイ入口の900mほど西、丸沼第二ペンション村の案内に従い北に折れる。500mほどで終点ゲート前。数台駐車可。

林道を道なりに700mほど入ったヘアピンカーブ前が入口になる。尾根に出ると踏み跡があった。しばらく登り右(東)に岩稜が出てきたら、この上を登る。岩稜はすぐ終わり、また歩きやすくなる。

1580m付近で北に向きを変え、1600mを越えアスナロの幼木が多くなると笹の中に踏み跡が消滅する。尾根を外さずに登る。1858m峰手前の広い急斜面は幾つかテープを付けた。

1858m峰で西に向きを変え尾根を行くが、笹と倒木で歩き難い。このコースでは1858m峰から西の1800m



(注) 踏み跡が不明瞭、あるいはありません。地図、コンパスは必携です。

付近までが一番歩き難い。その先、鞍部までは比較的最近伐採が入った様で、倒木がそのままなので歩き難いが藪は少ない。鞍部からは藪を漕ぐという程のこともなく山頂に出た。展望は無い。下りは1858m峰からの広い急斜面と、1580m付近で尾根が南東に折れる辺りで直進しないよう注意。往復約4時間30分。

## 事務局だより

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、イベントの中止・延期が相次いでいます。今後の予定も不透明な状態です。見通しが立ち次第、会員メールでお知らせしていきます。

### 【主な活動・事業・イベント】

- 〈5月〉
- 令和2年度支部通常総会・第40回例会(書面開催)
- 〈6月〉
- 群馬県山岳団体連絡協議会通常総会(書面開催)
- 日本山岳会令和2年度通常総会(6/20)
- 〈7月〉
- 日本山岳会全国自然保護集会\*中止
- 自然観察会(7/11 湯ノ丸山)\*雨天中止
- 第41回支部例会(7/15 前橋・中央公民館)
- 支部山行(7/17~19 北アルプス上高地集中)
- 〈8月〉
- ぐんま県境稜線トレイル安全等調査第1回(8/1~2 黛)
- ぐんま県境稜線トレイル安全等調査第2回(8/15~16 佐藤光・中島・星野)

### 【今後の主な予定】

- 〈9月〉
- 健康登山塾第1回(9/12 赤城長七郎山)
- 第42回支部例会(9/16 前橋・中央公民館)
- 日本山岳会支部合同会議(9/26 東京およびZOOM)
- 〈10月〉
- 支部山行・尾瀬合宿(10/10~11 尾瀬周辺・ロッジ長蔵泊)

- 健康登山塾第3回(10/17 赤城地藏岳)
- 県民登山大会(岳連主催 10/25 子持・小野子周辺)
- 〈11月〉
- 木暮理太郎を偲ぶ会・碑前祭(木暮理太郎翁の足跡を語り継ぐ会主催 11/3 太田)
- 健康登山塾第3回(11/7 赤城黒檜山)
- 第43回支部例会(11/18 場所未定)
- 支部山行(日程未定 筑波山)
- 〈12月〉
- 日本山岳会年次晩餐会(12/5 東京)
- 〈2021年1月〉
- 支部山行(1/1 初日の出山行・赤城長七郎山)
- 第44回例会・新年会(1/20 前橋)

### 【新入会員】

榎 孝浩

### 支部報発行回数、発行月の変更について

群馬支部報は、創刊以来1月と7月の年2回発行してきましたが、5月発行の第12号より年3回、5月、9月、1月の発行としました。より新鮮な情報をお届けしていきます。みなさまからの情報・寄稿もお待ちしております。

日本山岳会群馬支部報 第13号 2020年9月16日  
 発行：公益社団法人 日本山岳会群馬支部  
 〒379-0109 安中市秋間みのりが丘5-169(北原方)  
 http://jac.or.jp/gunma/  
 発行者：北原 秀介 編集者：根井 康雄・萩原 哲  
 印刷：上武印刷株式会社